

Quest®による SharePlex® for Apache Kafka

経営判断を促進するリアルタイムの分析では、データを素早く移動させる必要があります。データがエンドポイント間を効率的に移動できないと、処理が非効率になり、それに伴うコストも莫大になりかねません。

今日、多くの組織が、ミドルウェアプラットフォームの使用を通じてデータのエンドポイントを分離させるためにApache Kafkaを採用しています。Kafkaは実質的に、メッセージブローカーです。複数のエンドポイント同士に互換性をもたせる必要がなくなり、Kafkaとだけ相互にやり取りすればよくなります。

Apache Kafkaは購入時のレコメンデーションや、何千ものIoTデバイスからのストリームの分析、イベントログの抽出といったユースケースを伴う、高速なデータストリーミングには特に便利です。恐らくKafkaの最適な用途は、複数のソースから一元化された場所への、高速で信頼できる運用

データのストリーミングです。ビジネス・インテリジェンス・プラットフォームから、そのデータにアクセスできるようにします。

そのアーキテクチャにより、Kafkaは、優れた拡張性、フォールトトレラント性、スピードを兼ね備えています。こうした特長がKafkaの急速な普及を後押ししてきました。

なぜKAFKAには SHAREPLEXが必要なのでしょう？

Quest®によるSharePlex®は、レプリケーションに変更データキャプチャ (CDC) アプローチを採用しています。ネイティブツールよりも高速に動作し、Oracleデータベースからデータを移行します。つまり、SharePlexではOracleからKafkaに、そしてKafkaを仲介してデータ消費者に迅速にデータが送られるということです。これにはAzure Event Hubs for Kafkaが含まれます。

SharePlexはKafka向けの変更データキャプチャ (CDC) ツールです。向上した可用性と拡張性、そしてデータ統合サービスを通じて、高い価値をもたらします。

メリット

- 低コスト
- シンプルさ
- 受賞歴を誇る優れたサポート
- 高速
- 正確さ



Apache Kafkaのパフォーマンスを向上させながらビッグデータを最大化して、分析用の高速で正確なリアルタイムのデータを取得します。

SharePlex for Kafkaを使用すると、お使いのOracleデータベースから、重要な経営判断やカスタマーインタラクションの強化、動作性能の向上に必要なリアルタイムデータを取得できるようになります。

ORACLEのトランザクションをAZUREに移動する

SharePlexを使用すると、OracleデータをAzure Event Hubs for Kafkaに高速で複製できます。こうしたデータストリームは、Azure Synapse AnalyticsやSnowflakeといったクラウド分析サービスでストリームを処理してビジネスの戦略的な意思決定をサポートするインサイトをさらに迅速に得るために、多数の消費者に送られます。同時にダウンタイムの可能性も回避されます。

SharePlexのメリット（一部）：

- ・ ストリーミングのニーズに合わせて、OracleデータベースからKafka環境へデータをレプリケート
- ・ Azure Event Hubs for Kafkaを活用して、OracleのデータストリームをAzureのデータ分析プラットフォームに移動
- ・ 使いやすさ
- ・ フォールトトレランス
- ・ 高いデータ整合性

- ・ 低オーバーヘッド
- ・ 柔軟なデータ型のサポート
- ・ 低コスト
- ・ 必要なデータのみをレプリケート

特長

- ・ **データ管理** — 必要なデータのみを移動。テーブル、行、または列ごとに細分化して管理
- ・ **フォールトトレランス** — 予期せぬアウトageまたはネットワーク中断の際のデータロスを実質的に最小限に
- ・ **複数トピックをサポート** — 特定のデータを異なる複数のKafkaトピックに送信
- ・ **複数フォーマットをサポート** — JSONおよびXMLフォーマットをサポート
- ・ **拡張性** — 成長を続ける環境に合わせて拡張可能

QUESTについて

Questはますます複雑になるIT環境において、新たなテクノロジーのメリットを現実にするソフトウェアソリューションを作成しています。データベースとシステムの管理からActive DirectoryとOffice 365の管理、そしてサイバー・セキュリティ・レジリエンスまで、Questは次のIT課題を今すぐ解決できるよう、お客様をサポートします。Quest Softwareは今「次」に備えます。